

4月分の電力需給実績について

1. 電力需要について（表－1 参照）

4月分の販売電力量の合計は、61億600万kWh、対前年比100.1%となり、契約電力が減少した一方で、前年に比べ気温が低かったことにより暖房需要が増加したことなどから、前年並みの実績となりました。

用途別の実績については、以下のとおりです。

○電灯

電灯は、前年に比べ気温が低かったことによる暖房需要の増加などから、対前年比104.2%と前年実績を上回りました。

○電力

電力は、契約電力の減少などから、対前年比97.9%と前年実績を下回りました。

（表－1：販売電力量）

（単位：百万kWh、%）

区 分	当 月 実 績 (A)	前 年 実 績 (B)	前 年 比 (A/B)
電 灯	2,175	2,087	104.2
電 力	3,930	4,015	97.9
合 計	6,106	6,102	100.1

※個々の数値の合計と合計欄の数値は、四捨五入の関係で一致しない場合があります。

2. 供給力について（表－2 参照）

4月の発電電力量の合計は、60億6,000万kWh、対前年比97.0%の実績となり、前年実績を下回りました。

（自社水力）

出水率101.5%の豊水となったことから、発電量は前年を500万kWh上回る8億8,400万kWhとなりました。

（自社火力）

運転状況の違いなどから、発電量は前年を3億7,300万kWh下回る38億8,400万kWhとなりました。

（自社原子力）

定期検査により、女川原子力発電所の全号機と東通原子力発電所1号機が運転を停止していることから、発電量はありませんでした。

（自社新エネルギー等）

地熱発電所の運転状況の違いなどから、発電量は前年を1,200万kWh下回る6,900万kWhとなりました。

（他社受電）

日本卸電力取引所における取引（売電）の増加などから、他社受電合計では、前年を3,200万kWh下回る16億2,300万kWhとなりました。

(表－２：発受電電力量)

(単位：百万kWh、%)

区 分			当 月 実 績 (A)	前 年 実 績 (B)	前 年 差 (A-B)	前 年 比 (A/B)
自 社	水 力	自 流 式	837	826	11	101.3
		貯・揚水式	47	53	-6	89.4
		計	884	879	5	100.5
	火 力		3,884	4,257	-373	91.2
	原 子 力		0	0	0	-
	新エネルギー 等		69	81	-12	84.8
	合 計		4,837	5,217	-380	92.7
他 社 受 電			1,623※	1,655	-32※	98.1※
融 通			-385※	-613	228※	62.7※
揚水用動力			-15	-9	-6	168.5
発電受電合計			6,060※	6,250	-190※	97.0※
出 水 率			101.5	86.4	15.1	-

※新電力に対するインバランスなど未確定値を含みます。

以上